

荒川区区政改革懇談会

第8回 まちづくり・環境分科会 議事要旨

【日 時】

2月28日(水) 19:00~21:00

【場 所】

荒川区役所 304 会議室

【次 第】

ステップ1：はじめに

ステップ3：今後について

ステップ2：話し合い

ステップ4：その他

ステップ1 はじめに

事務局より、事前送付資料の説明を行った。

ステップ2 話し合い

区民提言(案)に基づいて、話し合いを行った。

【「放置自転車問題等」の区民提言(案)について】

- ・ 商店街での自転車駐輪場の整備は、より良い商店街にするためというスタンスで、商店街の主体性に委ねることが基本となるのではないかと。区の支援が必要とされれば、支援すれば良い。商店街の人たちに検討してもらったところから実施してはどうか。
- ・ 自転車マップを作成している例はあるのか。
(回答) 市域全体で推奨ルートや歩道上を走ってもいい場所、走りやすい場所などのマップを作成したり、モニターにまちを自転車で走行してもらい、危険箇所を指摘してもらったりという事例がある。
- ・ 自転車マップは通勤用、買物用、レクリエーション用など、目的別に種類があると良い。
- ・ 自分の商店街のPRも兼ねて、例えば、ここに自転車を止めると特典があるなど、そのような商店街の自転車マップができるのではないかと。
- ・ 自転車マップは、区がつくらなければいけないものではない。例えば、区から商店街に駐輪場の整備を持ちかけ、併せて、自転車マップをつくってみたいかと提案する。後はそれぞれの商店街で考えてもらえば良い。
- ・ 商店街のある駐輪場に、自転車を止めたいような方策があると良い。
- ・ 一つでも、そういった取り組みが成功すれば、波及していくかもしれない。
- ・ 観光課で作成しているマップがある。その中に、走行ルートや駐輪場を入れてくれば

費用がかからない。商店街の売り上げに直結することがわかれば、自主的に作成する商店街もあるのではないか。

- ・ 一方通行で幅員が狭く、自動車の交通量が少ない裏通りを、うまくネットワーク化していくと、自転車にとって走りやすいルートになるのではないか。
- ・ 裏道を走っていると、歩行者や自動車との出会い頭の事故などがあるので、注意するポイントを明記した方が良い。
- ・ 行政主導で作成した自転車マップは区報と同じように配布する。商店街主体で作成した自転車マップは商店街毎に広めてもらうのが良いのではないか。
- ・ 自転車屋さんも入れておくと良い。自転車のまち荒川なのだから。
- ・ 自転車屋さんも自転車マップをお店に置いてくれるだろう。広告も入れてくれるかもしれない。もし、そのような自転車マップが作成されれば、自転車屋さんの活性化ということも考えられる。
- ・ どうやって商店街を活性化していくかということが、店主さんたちの課題になっていると思う。その話の延長線上に自転車の問題も入ってくれば良い。
- ・ 商店街にこういったアイデアを提案すれば、何か一石を投ずることになるかもしれない。商店街主体の自転車マップの裏側に、商店街の広告があれば、またそれはそれで良い。
- ・ 自転車を停めて良い場所の明確化と、デザイン的な配慮は良いと思った。

- ・ 自分のまちが、違法駐輪やマナーの悪い止め方をする利用者によって、どれだけ不便な思いをするかということを知ってもらわないと、考えようという気持ちにならない。
（回答） 放置自転車の不利益を説明する簡単な冊子を配布した例がある。その冊子を読んでもらっただけでも、放置自転車が減った事例がある。誰がやるかの問題はあがあるが、簡単な啓発活動でも効果があったという事例である。
- ・ それも良い方法の1つだと思う。それは区の方でやってもらいたい。
- ・ 放置自転車によってこういう被害があるという、ちょっとした時間で見ることができる子ども向けのビデオがあると良い。自動車の運転免許証の更新時のビデオのように。
（回答） 荒川区では月に1回、小学校4年生以上を対象に自転車免許の講習会を実施している。
- ・ 参加は自由であり、問題は意識のない子どもをどうするかである。自発的に来ない子どもたちも対象にしていけない。

- ・ 提言書は、きれいにまとまっているが、もっとインパクトがあると良い。
- ・ 提言書に写真など、現状がわかるものを入れていくと、問題意識をもっと強くアピールできると思う。
- ・ 具体的な地名が出てくる箇所があるので、そういうところにその場所の写真をつけると良いのではないか。また、以前の資料に先進事例の写真があった。そういうものを良い例として載せておくと良いのではないか。

【「区民が望む児童遊園・公園の実現に向けて」の区民提言（案）について】

- ・ 「荒川区の公園等の現状」について、付け加えるとしたら課題のある公園の写真だろう。文章と対応した写真があれば、入れた方が良い。
- ・ 逆に良い公園もたくさんあるので、その公園の写真も入れられれば良い。
- ・ 「区民が望む児童遊園・公園像の実現」についても、これまで紹介されてきた荒川区以外の理想的な公園の写真を載せて、こういう公園をつくりませんかという話にもっていかないためであろう。
- ・ 「地元の商店や企業との連携」、「公園への集客の仕組みづくり」の内容は、あくまでも例示であり、この内容がすべてではない。一言、ことわっておいた方が良い。
- ・ 発表する方も、一言、付け加えると良いだろう。
- ・ 公園等の維持管理費に充てるため、商店や企業から広告費を募り、公園等のベンチに商店や企業名の入ったプレートを添付するのは別に、個人を対象とする場合は、プレートを添付する際の値段を安くしないといけない。むしろ個人で、何かの記念に公園等のベンチにプレートを添付したいと思う人がいるのではないか。
- ・ 資金がなくても、区民で実施できる維持・管理面での取り組みは、公園の清掃、樹木の剪定、草花の手入れ、子ども達の見守りなどがあるのではないか。
- ・ 個人個人の活動になってしまうかもしれないが、学校の近くの公園であれば、児童や生徒等が、環境学習の一環で、公園を活用するとか、児童が掃除する日を決めるとか、そのような案もある。障がい者の方の就労支援で、公園を維持・管理するというような話はしたと思う。実施している自治体もあるという話だった。普段かけている資金より、少ない資金でできると思う。
- ・ 地域のまちづくりに係わるNPOがあるのであれば、児童遊園の運営組織を担えるだけの能力があり、運営組織メンバーに入れてはどうか。
- ・ 運営組織メンバーに地域にある学校も入れて欲しい。小・中学校までに限らず、高等学校等も。
- ・ 公園への自転車やバイクの乗り入れが問題になっているという話があったが、区民提言（案）には入っていない。自転車やバイクという固有名詞は出さずに、公園に障害物を置かれては困る、というような文言を入れてはどうか。
- ・ 公園づくりを実施していく上でのガイドラインを行政が用意し、それを基本のマニュアルとし、地域毎の特徴に即しマニュアルを変更していけば、素人でも進め方がわかると思う。
- ・ 公園への集客の仕組みづくりとして提案されている荒川区1日乗車券は、都電をイメージしているのか。
- ・ 荒川区にはJRや私鉄などの路線があり、色々な交通機関を乗り換えると交通費がかな

り高くなる。路線全てが1日乗り放題という乗車券がつくれたらということ。JR、京成、営団地下鉄、都電、都バスなど、全て乗り放題で500円だったら、かなり割安となる。

- ・ 荒川区内は、乗り降り自由ということか。定義を入れたほうが良いと思う。
- ・ 区民の提案として、提言書に記載することは記載し、実現できなければしょうがない。ただ、1日乗車券があれば、区内観光の利便性が高まる。
- ・ 観光ガイドの設置及びその人材育成という記述があるが、東京都の公園では、観光ガイドを各公園で募集し、人材育成のため毎年講習を受けるそうである。
- ・ 南千住のふるさと文化館でも、そのような取り組みがあるのではないか。
- ・ ガイドを育成するというわけではなく、講習会があったり、展示物について学芸員が月に1回位、説明してくれる。荒川区の場合、自然公園は広いので、園内を案内してくれる人がいると良いのではないか。
- ・ 世田谷区の公園で、視覚障害者を対象に、受信機を貸し出すサービスがあった。受信機を通して、樹木やイベント情報を説明してくれるというもの。自然公園でやったら良いのではないか。
- ・ 尾久の原公園には、尾久の原愛好会という団体がある。自然を観察する会であるが、そのような団体やNPOとの連携でも良いのではないか。
- ・ 荒川区に長く住んでいる方の中には、歴史等に詳しい方がいると思う。
- ・ 公園を巡るツアーの中で、自然観察会や歴史を学ぶメニューがあっても良い。

【「人と犬が共存できる児童遊園・公園に向けて」の区民提言（案）について】

- ・ 野良猫の問題には、触れなくて良いのか。
 - ・ 次年度以降、野良猫の問題について、考えていけば良いのではないか。
- (回答) 公園で猫に餌をあげる人がいることで、周辺住民から苦情がでる場合がある。その場合、区職員が、餌をあげている人に直接会って話をする。人によっては、動物愛護の気持ちから餌をあげていると反論する方もいるし、わかりましたと言いながら続けている人もいて、大変、難しい問題である。
- ・ ルールに違反した人に罰金を課す場合、罰金の徴収方法については、警察と協議し、どのような方法がとれるのか検討してはどうか。
 - ・ タバコのポイ捨ての例では、千代田区や中央区は反則金を課している。また、区の人がパトロールしている。なお、反則金と言い、罰金とは呼ばない。
 - ・ 悪質なルール違反者については、前科者として扱われるような規則をつくってはどうか。
 - ・ 理屈はわかるが、区民の抵抗が大きいのではないか。
 - ・ 社会的責任や道義的責任が崩れており、法で規制をかけていくべきではないか。

【今年度の懇談会の感想について】

- ・今年度も質の良い提言ができて良かった。来年度以降は、自転車、公園、交通システムなど、個別テーマで懇談会を立ち上げて話し合った方が良い。様々な個別テーマで、興味のある人が集まり懇談会を開催するというスタイル。今後、平成17～18年度に開催したようなスタイルの区政改革懇談会は、5年後、10年後に再度、開催してはどうか。
- ・分科会となって、具体的な話のできたので充実感があった。提言した内容を区がどのように反映してくれるのか、あるいは区民がどうやって実施していくのか、長い目で見守る必要があると思う。また、提言の具体的な内容は、さらに分科会や協議会で、話し合っていく必要がある。
- ・色々提案したが、今後、実際にどのように実施されていくのか、非常に気になる。100%提言どおりにならないとしても、見守っていく必要はある。自分の住んでいる地域だし、自分は職業柄、荒川区から離れることはないの、自分達の住みやすいまちをどうつくっていくか、住民としての課題でもある。また、次世代へどのようにしてバトンを渡していくのかを考えることも先人の使命であり、今後も関わっていきたいと思う。
- ・普段の生活に近い内容で話し合えたことは、とても良かった。時間が短く、十分に話し合えないこともあったことが残念。今回の提言は、これから、どんどん掘り下げていく必要がある。区政改革懇談会で話し合いたいことは、まだまだたくさんある。そういう題材を出すという目的で、懇談会があっても良いと思う。今回の提言を掘り下げるのも良いが、それはそれで別に進めていただいて、まだ改善していかなければいけない課題は、問題提起として常に出していかなければ、その時代に合わないのではないかと。2年間の任期で、1年ごとに組織を分けて話し合ったが、2年間の通しでも良かったかもしれない。懇談会に参加し、今まで気が付かなかったことが見えるようになってきたということでは、こういう機会をいただいたことに感謝している。
- ・1年目は、漠然とした中で、なんとなく話し合いに参加していたようなところがあった。1年目は、まとまったものが残せなかった印象である。2年目は、具体的なことをテーマにしたせいか、色々、見えるところもあったし、考えるところもあった。自分では、気が付かなかった見方、考え方ができるようになり、とても感謝している。提言については、皆さんと同じように、これからも見守っていく必要があるし、関心を持って、その動向を見ていくようになると思う。区民の意見を聞くということでは、別のメンバー、別の世代の意見を聞くということも大事だと思うので、区民の声を聞く懇談会は続けて欲しいと思う。
- ・お金ではなくて、幸福という目に見えないものを実感できる地域が、本当にできるのかどうか楽しみである。昨年度、皆さんと一緒に考えた提言が、議会に上げられたりして、大変やりがいがあった。2年目は、分科会であったが、内容を少しでも実行できるように、区長も少しでも荒川区を良くしようとお考えになっていると思うが、我々区民は貢献できることがあれば、貢献していきたいと思う。また、何らかの形でこういう懇談会があれば参加したい。
- ・荒川区のためと思って、色々な角度から発言した。懇談会メンバーの皆さんは、色々な

考え方、パワーを持っていると思った。これは、荒川区の宝物だと思う。今回、4つの分科会から、色々な提案がでると思うが、実現する方向に向かって、我々も含めて、行政も努力してもらいたい。4~5年前から荒川区はITを前面に押し出しているが、このところ少し停滞気味である。荒川区には、その辺の頭脳・技術を持っている人もいるであろうから、人材を活用して欲しい。宝物の集団を、提言のお目付け役に、また、今後、色々な問題、課題が出てくると思うので、そのような時は、小さな手助けができればと思う。懇談会については、ぜひ存続させて欲しい。

ステップ3 今後について

3月中旬の提言報告会に向けて、区民提言の最終版を郵送することとした。
また、提言報告会前に発表者との打合せの場を設けることとした。

ステップ4 その他

提言報告会の日程等について

【日 時】平成 19 年 3 月 21 日 (水)(春分の日) 10:00~12:20

【場 所】サンパール荒川 5階末広(第7集会室)

【内 容】活動・提言報告

以上